

信力増進（深く仏さまのお心を感じる）

法華經見宝塔品第十一

しきょうなんじ

がそくかんぎ

しよぶつやくねん

によぜしにん

しよぶつしよたん

此経難持

若暫持者

我即歡喜

諸仏亦然

如是之人

諸仏所歎

是則勇猛

是則精進

是名持戒

行頭陀者

則為疾得

無上仏道

能於末世

誦持此經

是真仏子

住淳善地

仏滅度後

能解其義

是諸天人

世間之眼

於恐懼世

能須臾説

一切天人

皆忘供養

誦讀

この経は持ら難し。

もし暫くも持つ者は我即ち歡喜す。

諸仏もまた然りなり。

是の如き人は、諸仏の歎めたもう所なり。

是れ則ち勇猛なり、

是れ則ち精進なり。

是れを戒を持ち、

頭陀を行ずる者と名く。

則ちこれ疾く、

無上仏道を得たるなり。

能く末世に於いて、

この経を讀み持たんは、

是れ真の仏子、

淳善の地に住するなり。

仏の滅度の後に、

よく其の義を解せんは、

是れ諸の天人、

世間の眼なり。

恐懼の世に於いて能く須臾も説かんは、

一切の天人、

皆供養すべし。

現代語訳 ◆この『妙法蓮華經』を受け持つことは大変な難事である。

ほんの少しでも身口意（行う・唱える・念じる）で持つ人がいたならば、私、釈迦牟尼仏が心から喜ぶだけでなく、諸仏たちも同様に喜ぶことである。

このような人は諸仏がほめ、加護するところである。

これは、素晴らしい行為であり、努力である。

この人のことを仏の教えを守り、実行している人と名づける。

こういう人は無上の仏の境地に至ることができ得るであろう。

来世において、この妙法蓮華經を身口意に持ち続ける人、この人を真の仏の子と呼び、清浄無垢の世界に安住されるであろう。

お釈迦さまの滅後、この經典の意義をよく理解したならば、その人は天上界・人間界すべての人の眼となろう。

ことに世の中が恐ろしい時代に、ほんの少しでもこの法華經を説くことができるのであれば、その人には、一切の天上界・人間界の人々がみな喜び供養するであろう。

この経は持ら難し。

もし暫くも持つ者は我即ち歡喜す。

諸仏もまた然りなり。

是の如き人は、諸仏の歎めたもう所なり。

是れ則ち勇猛なり、

是れ則ち精進なり。

是れを戒を持ち、

頭陀を行ずる者と名く。

則ちこれ疾く、

無上仏道を得たるなり。

能く末世に於いて、

この経を讀み持たんは、

是れ真の仏子、

淳善の地に住するなり。

仏の滅度の後に、

よく其の義を解せんは、

是れ諸の天人、

世間の眼なり。

恐懼の世に於いて能く須臾も説かんは、

一切の天人、

皆供養すべし。

現代語訳 ◆この『妙法蓮華經』を受け持つことは大変な難事である。

ほんの少しでも身口意（行う・唱える・念じる）で持つ人がいたならば、私、釈迦牟尼仏が心から喜ぶだけでなく、諸仏たちも同様に喜ぶことである。

このような人は諸仏がほめ、加護するところである。

これは、素晴らしい行為であり、努力である。

この人のことを仏の教えを守り、実行している人と名づける。

こういう人は無上の仏の境地に至ることができ得るであろう。

来世において、この妙法蓮華經を身口意に持ち続ける人、この人を真の仏の子と呼び、清浄無垢の世界に安住されるであろう。

お釈迦さまの滅後、この經典の意義をよく理解したならば、その人は天上界・人間界すべての人の眼となろう。

ことに世の中が恐ろしい時代に、ほんの少しでもこの法華經を説くことができるのであれば、その人には、一切の天上界・人間界の人々がみな喜び供養するであろう。